

原発事故で変わる町 見続けたい

福島県双葉町 6月に避難指示解除へ

東日本大震災 11年

11年ぶりの自宅宿泊に笑顔

東日本大震災の特集の2回目は、東京電力福島第一原子力発電所の事故の被災地です。全町民の避難が続く福島県双葉町では事故から11年がたち、避難指示の解除が6月以降に一部地域で予定されています。避難先から町に通い続ける大沼勇治さん(46)に、故郷への思いを聞きました。(佐藤秀区)

町民で茨城県古河市に避難
大沼勇治さん(46)



3月5日に双葉町内を自転車で行った大沼さん一家。奥にはかつて大沼さんが考えた標語が見えますー福島県双葉町 大沼さん提供



福島県双葉町 東日本大震災当時、双葉町の人口は7140人。2月28日現在で住民登録されているのは5625人で、町民は42都道府県で避難生活を送っています。町は避難指示解除から5年後に、移住者も含めて居住人口2千人を目標に掲げていますが、町と復興庁が昨年行った意向調査では約6割が「戻らない」と決めていると回答。帰還を希望する人は1割です。

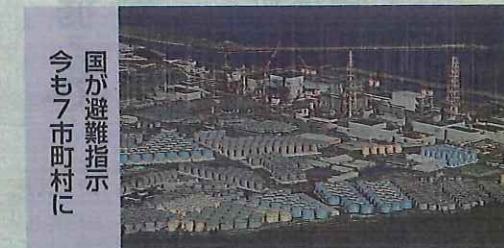
震災から3年後に書いた詩の看板を前に、「このときは、町に泊まれる日が来るとは思っていなかった」と大沼さん。2014年に茨城県古河市へ移り、「子どもたちの未来が約束できる世の中になってほしい」という思いから、太陽光発電所を運営していますー2月24日、福島県双葉町



アルバムには、大沼さんが考えた標語の看板や、撤去された日の写真が収められていました。現在、看板のレプリカが町内の施設で展示されています

2月24日、避難先の茨城県古河市から双葉町に一時帰省した大沼さんの自宅には「RESTAURANT」と書かれた段ボールの机がありました。1月末に、大沼さんが妻と小学生の子どもの2人と自宅に泊まったときに作ったものです。「家族で焼きそばを作って食べたり、朝にはラジオ体操をしたりしました。天窓から朝日が差し込んできたときは懐かしかったなあ。11年ぶりに自宅に泊まった日を振り返り、笑顔を見せます。町内の9割が放射線量の高

い「帰還困難区域」に指定された双葉町。町は、再び人が住めるよう放射性物質の除染が進む地域について、6月以降に避難指示の解除を想定しています。1月からは町民が生活の準備をするため自宅に泊まれる「準備宿泊」が始まりました。町の中心部にある大沼さんの家の周りでは解体された建物が多く、更地が目立ちます。一方で、駅前は町役場の仮設庁舎を建てる工事が進められています。「家の窓から見える景色も変わっていくと思う。家から変わっていく町を見続けていきたいし町を訪れるたび家族で新しい思い出を作りたい」



福島第一原発には放射性物質の多くを取り除いた処理水の貯蔵タンクが並んでいますー2月11日。©朝日新聞

東京電力福島第一原発の事故 2011年3月11日の東日本大震災による津波が、東京電力福島第一原子力発電所(福島県大熊町、双葉町)を襲い、原子炉が損傷。大量の放射性物質が広い範囲にもれ出て、土壌や海が汚染されました。世界最大級の原発事故といわれています。国は福島県内の11市町村に避難指示を出し、今なお7市町村で指示が解かれない区域があります。このうちの6町村が準備宿泊を順次開始。福島県によると、県内の避難者は6668人(2月28日現在)、県外は2万6692人(2月8日現在)。

故郷をずっと記録し、次世代に

かつて、町の商店街の入り口には「原子力明るい未来のエネルギー」という標語の看板が掲げられていました。当時、小学6年生だった大沼さんが考案したもので、原発が田舎だったので、原発があることで、仙台などのようなにぎやかな街になることを期待していたと振り返ります。大沼さんは震災前、不動産会社に勤めながら、町内でアパート経営をしていました。しかし、原発事故が起こり、生活は一変。町には避難指示が出され、住むことはできなくなりました。大沼さんは妊娠中の妻と生まれくる子どもを考へて、親族を頼って茨城県へ避難。「安全と信じていた原発は何だったのか。看板の標語が自分を苦しめました」。避難後も、たびたび双葉町に一時帰省して、町の様子を写真や動画で撮影。老朽化を理由に看板が撤去されることを知ると、「原発を推進していた時代のこと、事故の悲惨さを後世に伝えるために残すべきだ」と町に訴えました。「町の景色がどんどん変わっていく中で、町へ通い続けることは思いません」。町に通い続けられているのは「家族の力」もあります。震災10年を前にした2020年秋に、2人の子どものために自身の故郷が双葉町である

ことを伝え、家族で町を訪れました。「双葉へ来た行きたい」と話す子どもたちの姿が後押しになっている」と言います。放射線は目に見えないため、子どもたちには、震災で倒壊した建物を見せたり、除染や町がきれいになった様子を見せたりして、「町がきれいになった」と伝えることにこだわりたいと大沼さん。「故郷に帰れないまま、避難先で上くなった人たちもいる。これからも通い続け、町の様子を写真などで記録し、次の世代に伝えることで、二度と同じような事故が起こらないことを願っています」

3/16 中2S記 (氏名)

<各□8点×12> (クラス) B C 他

1. 回路に流れる電流の強さが予想できないとき、電流計の一端子はどのようにして選ぶか。簡単に書きなさい。

はじめは最も()い電流が流れる()の端子を選ぶ

2. 電流を流したコイルのまわりにできる磁界を強くする方法を3つ簡単に書きなさい。

コイルに流す

コイルの

コイルに

3. 磁界の中を流れる電流には力がはたらく。この力の向きを逆にする方法を2つ簡単に書きなさい。

()による()の向きを逆にする

()の向きを逆にする

4. コイルに磁石を出し入れすると、電流が流れる。この電流を強くする方法を3つ簡単に書きなさい。

磁石を

コイルの

磁石を

5. 晴れている日の気温の変化と湿度の変化との間には、どのような関係があるか。簡単に書きなさい。

6. 地表付近にあった空気が上昇すると、雲ができる。そのしくみについて、次の書き出しに続いて、「膨張」、「凝結」、「露点」という語句を使って簡単に書きなさい。

空気が上昇すると、

7. 寒冷前線付近では、強い上昇気流が生じるため積乱雲が発生しやすい。この強い上昇気流が生じる理由を「寒気」、「暖気」という語句を用いて簡単に書きなさい。

NEWS <1点×4> 漢字で書け。

右図 A, B の県名と県庁所在地名

A. _____ 県 _____ 市

B. _____ 県 _____ 市

